

白鳥誠 市政レポート Vol.87



発行：千葉市議会議員 白鳥誠事務所

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-97-9 TEL.043-293-7130 FAX.043-307-4882

E-mail : info@m-shiratori.jp URL : www.m-shiratori.jp

令和4年 第4回定例会 (11月29日～12月16日)

今定例会では、定例会初日に提出された補正予算(学校施設の環境整備に係る経費のほか、新型コロナウイルス感染症への対応として、冬季の感染拡大に備え、患者療養等に係る経費等)、国の補正予算の成立を受けて定例会最終日に提出された補正予算(妊娠・出産時にそれぞれ5万円を支給する等の事業や、静岡県で起きた送迎バスでの置き去り死亡事件を受けて義務化される送迎バスの安全装置の設置を支援するなどのこどもの安心・安全対策に係る事業の経費を追加)、併せて169億2,200万円の補正予算が可決されました。また、私は、「政令市移行30周年」・「農業振興」に関する一般質問を行いました。今号では、補正予算に計上された主な事業と一般質問の内容について、報告します。

補正予算169億2,200万円の主な事業

学校施設の環境整備 77.42億円

①大規模改造、外壁・トイレ改修(68.07億円)

大規模改造…小学校4校、中学校3校
外壁改修…小学校9校(金沢・小谷・大椎・有吉・扇田他)、中学校4校(有吉他)
トイレ改修…小学校23校(椎名・誉田・小谷・大椎・有吉・金沢・扇田・誉田東他)、中学校6校…(越智・有吉他)特別支援学校1校

トイレ改修設計…小学校4校(あすみが丘他) 中学校4校(土気南・大椎他)

②エレベーター設置(4.81億円)

小学校5校(椎名・平山他)、中学校1校

③校庭整備(3.05億円) 小学校3校

④給食室冷暖房設備整備 1.5億円

小学校10校(小谷他)



新型コロナウイルス感染症対策 18.62億円

- 新型コロナウイルス感染症の冬季の感染拡大に備え、患者療養などに要する経費を追加
- 宿泊療養施設の確保、自宅療養支援、PCR検査等公費負担、入院医療費公費負担

原油価格・物価高騰への対応 6.1億円

①公共施設光熱費 5.85億円

【動物公園事業会計、病院事業会計、下水道事業会計、水道事業会計】

電気・ガスの価格高騰に伴い光熱費に係る経費を追加

②畜産飼料価格高騰緊急対策 0.25億円

畜産飼料の価格高騰を受け、畜産農家の負担軽減を図るため、給付金を支給

産業用地整備支援 5億円

民間活力による産業用地整備に必要な周辺インフラ整備に係る費用について建設負担金による支援を実施

整備地域…中央区生実町外

開発規模…17.2ha(うち分譲面積：約9.0ha)

出産・子育て支援の充実 12.56億円

①伴走型相談支援体制の拡充

現在希望者を対象として実施している、妊娠8か月前後の面談について、全妊婦を対象に実施

- ①妊娠届出時の面談(全妊婦)
- ②妊娠8か月前後の面談(希望者→全妊婦)
- ③出生届出後(乳児家庭全戸訪問)

②出産・子育て応援プラン給付金の支給

①出産応援プラン給付金

対象者…妊婦
支給額…妊婦1人につき5万円
支給時期…妊娠届出後

②子育て応援プラン給付金

対象者…出生した子を養育する者
支給額…新生児1人につき5万円
支給時期…出生届出後

※①、②いずれも令和4年4月以降に出産した方が対象



こどもの安心・安全対策 2.16億円

静岡県で起きた送迎バスの置き去り死亡事件を受けて義務化される送迎バスの安全装置の設置等。

①送迎バスへの安全装置導入

①民間支援分

対象者…民間保育園、障害児通所支援事業所等(521台)



補助率…10/10

補助額…1台あたり18万円(想定)

②市特別支援学校分(12台)

②登園管理システム等導入支援

対象者…民間保育園、障害児通所支援事業所等

対象経費…登園管理システム導入経費、端末購入費等

補助率…施設種別に応じ4/5または3/4

基準額…施設種別に応じ1施設あたり15万円～100万円

③こどもの見守りタグ(GPS等)の導入支援

対象者…民間保育園、障害児通所支援事業所等
対象経費…GPSなどを活用した、在園・在所中の安全対策に資する機器等の導入経費

補助率…4/5

基準額…1施設あたり20万円

白鳥 一般質問

政令市移行30周年 — より市民サービスを高める見直しを!

～1992年(平成4年)4月1日 政令指定都市に移行～



今年度、千葉市は政令市に移行して30周年を迎えました。この節目の年に、これまでの政令市としての歩みを検証し、さらに住民サービスを高めることや、今後大都市として発展していくための対策に取り組むことが重要との思いから質問のテーマに取り上げました。

Q 政令市として都市運営してきた中で見えてきた課題について

A 政令指定都市は、大都市として、また、圏域における中心都市として、日本をけん引するエンジンとなり、先駆的かつ先導的な役割を果たすことが必要だが、その役割に見合った事務権限や、税制・財政上の措置が不十分である。また、本市では、2020年代前半をピークに減少に転ずる見通しとなっており、生産年齢人口の減少や少子超高齢化などに伴う社会経済状況への影響や、インフラの老朽化等が懸念されており、これらに対応するための財政需要の増大への対応などが課題となっている。

区役所を地域課題解決の拠点に!

今年度、千葉市では、10年後の地域社会を見据えた目指すべき区役所の姿を示すため、区役所のあり方に関する基本方針を策定することとされていますが、地域の課題を地域住民と共有しその課題を解決できるような区役所の機能・権限の強化が必要です。

Q 地域担当職員のこれまでの取り組みに対する認識について

A 地域から求められる役割に応えきれていない状況にあると認識しており、地域担当者である。

私は、地域担当職員の果たす役割が、大変大きいと思いますので、地域担当職員が目的に合った動きが取れるように、人材育成を行い、全地域に配置されることを強く求めました。

本市農業の重要性

千葉市の特長・魅力については、都会でありながら田舎でもあること、つまり、大都市でありながら緑と水辺に恵まれていることとされています。他市から本市に転入してきた市民の多くの方が、緑豊かな自然環境に恵まれていることが魅力と言っています。特に、本市の緑豊かな自然については、北海道等の一部に見る、人の手が入っていない大自然ではなく、田園や手入れされた山林にみる緑であり、その自然の多くは、農家の方たちが作り守ってきたものです。また、本市は、市域面積に対する農業振興地域に対する割合(50.2%)は、東京近郊の政令市の中でその割合は突出して高く、全国でも有数の農業を有する都市です。私は、住環境を守るためにも、本市の経済振興を図るためにも、また、東京近郊の大都市にない本市の魅力を高めるためにも農業振興を進めることが重要と考えています。



緑の危機

荒廃農地の面積は、耕地(田畑等)面積の20%強、全国平均7%の3倍強!

R3年・千葉市の荒廃農地は806.2ha(そのうちの95%が再生できない農地)です。

荒廃農地の発生原因は「農産物販売が低迷するなか、農業従事者が高齢化し、労働力(担い手)が不足している状況の下で、土地の基盤整備がされていない、あるいは土地条件が悪い農地を中心に、荒廃農地が増大している」と農水省が全市町村を対象に行った調査結果として示しています。荒廃農地の発生抑制には、認定農業者等の担

い手となる経営体の育成や斡旋等による農地の集積などの様々な対策が必要ですが、農業を「儲かる職業」にすることが最も重要と考えます。



荒廃農地

Q 本市の農業は儲かるとの認識を持てるようにすることが重要だが、見解は

A 農作業の効率化や省力化によるコスト削減、また熟練した農業者が有する技術の継承を容易にして、収量や品質の向上につながる、スマート農業機器の導入や、農業機械等の更新・修繕にも対応できるよう支援を拡充している。さらに、農業技師の指導力の強化を進め生産性の高い農業経営を確立し、「儲かる農業」を実践できるよう、農産物の栽培や販売の取組みを進める。

農政センターは農業振興の拠点!

農政センターの役割

- 種苗供給** イチゴ、ラッキョウ等のウイルスフリー苗を生産し市内農家へ供給
- 栽培試験** 栽培試験、実証実験を行い、市内農業者へ技術指導を実施
- 土壌診断** 土壌や水耕養液の分析を行い、適切な施肥の指導を実施
- 各種研修** 新規就農者や農業者を対象に生産技術・農業経営の研修を実施

千葉市の農政センターは、昭和53年に設立されました。(農政センターのような機能の施設を持っている自治体は多くありません。)本市の農政センターは、その機能・役割を強



化し、より農業に関係する人に役立てる存在となるよう、今年度からリニューアルを開始しました。

Q 農政センターが本市の農業振興の拠点となるために、市内農家の多くが相談し対策につなげることができるための体制・仕組みを持つことについて

A 農政センターは、農業の成長産業化を支援する現場の拠点として、日頃から地域の農業者の皆様に対してきめ細やかな支援を行うことが重要と考えており、その支援を継続的に行うことができるよう、農業技師の採用を再開した。今後は、「農業のすぐそばで、「人と技」を活かし農にまつわる全ての人に貢献します。」という農政センターのミッションのもと、農政センターが農業者への支援を継続的に実施できる体制を整えられるよう、農業職の採用を計画的に実施する。

市内で買って・食べて 千葉市農業を応援しましょう!

千葉市のイチゴ消費量は、金額ベースで全国2位(総務省・家計調査)です。最近、TV等で、餃子消費量日本一を



農政センターイチゴ栽培


宮崎市等が目指し動いていることが報道されています。それと同様に本市でもイチゴ消費量日本一を目指してはどうかと思います。1位は前橋市の4,784円です。前橋市と2位の千葉市・4,569円との差は僅か215円です。例え、1位にならなくても、千葉市の農業を全国にPRすることになり、イチゴ以外の他の農産物や本市の農業市としての存在を底上げすることにつながると思います。

政令市移行30周年の節目の年に、これまでの政令市としての歩み・課題を検証するとともに、大都市でありながら住民に対し決め細かい行政サービスが行えるよう区役所の機能・権限強化を始め、各所管の施策やその実施方法の見直しを進めることが重要です。また、本市は、大都市が県から完全に独立する特別自治市制度の創設を目指していますが、国からも県からも特別自治市にふさわしい大都市運営が行われるよう住民の視点に立って行財政改革を進めることが重要です。加えて、本市の魅力をさらに高めるために、農業振興は欠かせません。千葉市の農家は儲かっているとの評価が得られるよう農政センターを中心に農業振興に取り組むことが求められます。



白鳥 誠
プロフィール

- 1958年 (昭和33年1月30日生まれ)
- 1976年 千葉県立木更津高校卒業
- 1981年 立教大学を経て、そごう百貨店入社(1999年まで18年間、有楽町そごう勤務)
- 2003年 衆議院議員公設秘書
- 2007年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。初当選
- 2011年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。2期目当選
- 2015年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。3期目当選
- 2019年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。4期目当選



ご意見をお聞かせ下さい! 今回取り上げた問題等、市政に関わることも何でも結構です。みなさんのご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

E-mail : info@m-shiratori.jp Fax : 043-307-4882

市政報告のお知らせ

1月28日(土)

10:30~11:30 (鎌取コミュニティセンター・講習室)

13:30~14:30 (誉田公民館・工作室)

15:30~16:30 (あすみが丘プラザ・講習室2)